

(ここに)通心



令和2年2月 vol. 98

家系図作成の方々

えがお相続サポートでは
家系図作成サポートも行っています。
ご興味ある方はお気軽にお連絡くださいね♪

笑顔相続の道先案内人、相続コンサルタントの勝裕彦です。

相続によって残された家族が柔めのではなく、より家族の絆が強くなる「心の相続」のサポートを使命とします。

故人が持っていた財産を誰がどのように相続するか、これほども大事なことです。

相続税がかかるのか否か。かかるといたらいくらくらいか? これも知っておいた方が安心でしょう。

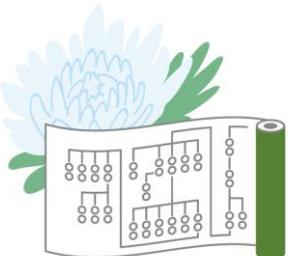
プラス「心の相続」を考える時、同時に向き合ってほしいことがあります。

それは、代々その家に伝わる教え・戒めといった家訓や
故人が生前大事にしてきた価値感も合わせて継承していくことです。

うーん、勝裕家に代々伝わる家訓とは何なのだろう?

そもそも自分の先祖、おじいちゃんおばあちゃんまでしか知らないなんて。

よし! 家系図を作ろう! と思い立ち両親に説明。許可をもらい調査開始。



父の故郷の輪島市役所、母の故郷の富来町(現志賀町役場)へ。

安政の時代まで6代遡ることができます。

遡る中で、若くして亡くなっている人がいたり、養子縁組の歴史もあり。

そして昭和25年、醤油姓から勝裕姓への改姓の事実もこの目で確認。

戸籍を眺めていると、その時代にタイムスリップしたかのような不思議な感覚になります。

天保…大飢饉、安政…大獄、歴史の教科書じゃないか!(ほんの数十年前にあつただと実感。
集めた戸籍を両親に見せながら、食後のひとときを過ごしました。

戸籍をたまて見ていた父が「ホンッ」と呟きました。

「そういえば…お父さんが生まれる前に、2番目に生まれた兄が生後間もなく亡くなっとるや」
兄が生きていればお父さんは生まれてない、たがもいかんって聞いとるんや」
なんということか!! 父がいなければ当然僕も生まれていない?
奇跡的にいたいたこの命。笑顔で自分らしく過ごさないとね~

母も「子供のころ、母親に連れられて小矢部まで墓参りに行ってきた。母と小さな子供達3人の電車の旅の楽しい思い出が残っていないが、たけど、こういうことやったんやね。調べてくれてありがとうございます。

家系図作成の過程で得たものは、子供の頃のことを懐かしく語る両親との心地よい時間でした。
家系図が作成したらパネルに入れ、改めて家族で語らう時間を作ろうと思う。